町会だより　NO.１８５号
荒屋会館竣工記念特集号

平成２２年　４月１２日
荒屋町住宅団地町会

高機能を備えた地域文化の発信基地「荒屋会館」が遂に完成！
完成を祝う竣工祝賀会を盛大に挙行、内外から絶賛の声

町会が取り組んできた長期プロジェクトである集会所改築事業は、昨年八月、荒屋会館新築工事として着工され約七ヶ月の工期で三月十五日遂に完成し、町会の十八年に亘る一大事業が完結しました。

建物としてはコンパクトながら、高齢者や身障者も施設利用ができるようエレベーターを設置、１階事務室には受付用デスクと最新のＯＡ機器類を設置し、さらに２階厨房設備や３階会議室は近代的な設備を導入、また、先端視聴覚情報機器類を完備し、荒屋会館の利用促進を企図した調理機器類、同好会活動のための用具類も整備され、集会所としては前代未聞の高機能を有するコミュニティ施設が誕生しました。

これは、我が町会の誇るべき地域住民の強い絆に基づいた団結力があってこそ実現したものです。四月四日開催の竣工祝賀会では、初めて入館された町内の皆さんや来賓の皆様方から、斬新な建物と充実した設備に高い評価を得ることができ、事業計画に携わった関係者としてこの上ない喜びとするところであり、今後の利用促進に一層注力したいと考えます。

祝 荒屋会館竣工祝賀会

早朝から快晴に恵まれた四月四日、準備万端整った荒屋会館完成祝賀会が、午前十時に馳衆議院議員を始め、二十名の来賓客全員と町内参列者四十数名が揃い、司会者田上副会長の開会の辞によりその幕が切って落とされました。

司会者田上副会長の開会の辞

主催者（町会長）挨拶

主催者の挨拶の後、馳衆議院議員の祝辞を皮切りに、７名の皆様からお祝いのお言葉を戴きました。

来賓祝辞（馳衆議院議員）

ご来賓祝辞のトップを切った馳さんが小藤公民館長の顔を見ながら、「このような立派な施設は公民館を超えているのでは？」と冗談ながら問いかけておられましたが、後ほどの小藤公民館長が祝辞で「公民館は負けました」と言葉を返され、会場は爆笑の渦に巻き込まれました。

ご来賓の七名の皆様方から、荒屋会館建設事業を成し遂げた町会の団結力の偉大さを称賛され、心温まるねぎらいの言葉を戴きました。

木村純子さんへ感謝状と記念品の贈呈の模様

祝辞の後、鈴木建設、五井建築設計研究所、美利善の各社長さんと絵画寄贈の木村純子さんにそれぞれ感謝状と記念品が贈呈されました。

感謝状と記念品贈呈の後、小出前町会長の発声により乾杯の儀が執り行われました。

続いて町内の皆さんと来賓の皆さんを交えての盛大な祝宴が繰り広げられました。

乾杯！

祝宴の模様

二階副会場も喜びの宴

三階主会場のほか、二階の副会場においてもくつろいだ姿の町内出席者が祝賀の美酒に酔いました。

祝宴では、来賓者の皆様が口を揃えて、荒屋会館の斬新な建物と施設の素晴らしさ、近代的な備品類の充実ぶりを褒めちぎっておられました。

これだけのことをやってのけた荒屋団地の結束力を余すところなく誇示できたと言えるでしょう。

祝宴は大いに盛り上がりを見せましたが、司会者から万歳三唱に移る案内があり、儘田元町会長の発声で万歳を三唱し、祝賀会が閉幕となりました。

この後、町内関係者が二階副会場に移り、あるを尽くす祝宴が続きました。

以上のとおり、竣工祝賀会はその名にふさわしい盛り上がりがある記念すべき一日となりました。

本祝賀会を開催するにあたり、町会役員のほかネットサークルや悠々サロンスタッフの皆さんに多大なご支援とご協力を賜りました。当日早朝六時から赤飯を作りパック詰めを行われた悠々サロンスタッフの皆さんに心から感謝いたします。そのほか、会場設営、受付、パソコン操作、ライブカメラ設置、記録写真撮影、後片付け等々に並々ならないご尽力をいただいたことに深く感謝し心から御礼を申し上げます。ありがとうございました。

『完成までの道のり』

１．改築資金積立制度の開始

平成 4 年度定期総会で儘田町会長により本制度の提案が行われ、満場一致で承認。同年 4 月から 500 円／月の積立開始。

２．地縁団体の認可

平成 5 年 6 月、他町会に先がけて地縁団体の認可を受け、同年 7 月集会所建物の所有権を初代町会長和田出四郎氏名義を町会名義に移転登記完了。

３．非公式による改築計画の検討

平成 12 年、集会所改築について水面下で荒屋小公園に移転を検討し、アラキ建築設計事務所が計画概要図を複数案作成したが、付近居住者の内諾が得られずペンディングとなる。

４．集会所利用者増加に伴う早期改築論が浮上

平成 18 年 7 月ネットサークル創設、同年 9 月悠々サロン創設に伴い、集会所利用者が急増したことから、早期改築を求める要望が高まる。

５．集会所改築プロジェクト検討委員会の創設

平成 18 年 11 月、集会所改築資金残高と今後の推移、それに基づく改築計画行程表を定例役員会において提示され、平成 19 年度から集会所改築プロジェクト検討委員会を創設し具体化を図る方針を決定。

検討委員は、町会役員のほか、各組織代表者を加え、さらに専門的な意見を参考にするため、町内在住の 1 級建築士、建築工事業経営者に委員を委嘱した組織構成とすることを決定。

６．集会所改築プロジェクト検討委員会の議事録抜粋

◆平成 19 年 3 月、第 1 回検討委員会

(1)集会所建物の現状報告、(2)改築計画概要の叩き台を作成し、その資料に基づき資金計画、金沢市補助金制度、計画行程案、過去の検討資料について審議、(3)集会所をどのように使用するかのイメージを定めて、建物規模と資金計画の具体化を早急に図る、(4)現位置建設とする場合、法令上の制限をクリアーできる最大の容積率・建ぺい率に基づいた概略設計図を作成する方針を決定。その作業を 1 級建築士西川委員に協力を依頼し承諾を得る。

◆平成 19 年 6 月、第 2 回検討委員会

(1)概略設計に基づく建物レイアウト素案による各部屋の利用目的の検討、(2)公的補助制度（地域サロン施設補助金）の適用可否の行政との協議、(3)概略設計に基づく概算工事費の算定と着工時期の見極めを年内に行うことを決定、(4)建設位置は現在地より面積が大きな土地を求めるとする場合、その資金調達がさらに 10 年前後必要となり、高齢化が進む状況では非現実的であり、現在位置で建設することが妥当と決定。

◆平成 19 年 9 月、第 3 回検討委員会
(1)建物レイアウトの見直し、(2) 土地所有者（石川県勤労者住宅生活協同組合）と土地の寄付要望の結果、(3) 実施設計（工事監理を含む）の外注委託、(4) 地盤支持力調査の外注委託、(5)建築費用の見積の各事項について協議。

◆平成 19 年 12 月、第 4 回検討委員会
(1)建物基本設計レイアウト見直し結果、(2) 補助金交付の行政との協議結果、(・金沢市補助金、・石川県補助金、・福祉協議会補助金（サロン改築補助金))、(3)資金調達計画、(4)計画行程、(5)建築工事費の見積の各事項について協議。
また、荒屋会館の建築イメージ図が公開され、近い将来、夢が形となる姿が明らかとなる。

◆平成 20 年 3 月、第 5 回検討委員会
(1)全体計画行程表について、完成を平成 22 年 3 月とする案を協議、(2)設計業務委託契約について協議、(3)調度用品・視聴覚機器類の整備方針とその資金調達方法を協議。

◆平成 20 年 11 月、第 6 回検討委員会
(1)集会所改築補助金交付に係る協議書提出、(2)集会所底地の寄付要望書、(3)設計業務委託契約に伴う成果品（設計図書・工事予定価格算定書）について、(4)資金計画の具体化、(5)調度用品、視聴覚機器類等の付帯資金調達計画、(6)新館名称についてそれぞれ協議。

◆平成 21 年 2 月、第 7 回検討委員会
(1) 集会所底地の寄付受けに伴う所有権移転登記並びに不動産取得税減免申請、(2)仮移転先の確保、(3)協賛金募集要領の各事項について協議。新館名称案を各委員が投票し、その結果、荒屋会館とすることが決定。

７．建設資金の調達
(1)自己資金
集会所改築資金積立金は、平成四年度から月５００円が平成二十一年年末までの十八年間に亘り徴収され、その累計額が 2,570 万円の巨額に達した。また、町会特別基金 340 万円を改築積立資金会計に編入繰り入れ、総額 2，910 万円の自己資金が投入された。
(2)資金調達計画
平成 20 年 9 月、北京オリンピック関連事業で建設資材需要が大幅に増えた影響のため、鋼材を中心とした建設資材が高騰を続ける状況の中、設計業務委託により算定された予定価格が 5,145 万円（税込み）と見積もられ、自己資金 2,910 万円に行政の補助金予定額 1,500 万円を加えた合計額 4,410 万円では、設計業務委託費 250 万円を含め 985 万円の資金不足となることから、①工事請負契約にあたり、4,515 万円（税抜き 4,300 万円）を上限とする価格交渉（ネゴ）を行うこと、②銀行融資 400 万円（4 年間で返済予定）の申込み、③調度用品・備品類整備資金として協賛金（目標額 160 万円以上）を募金することとした。
(3)協賛金募集
平成 21 年 3 月、調度用品・備品類整備資金に充当する協賛金を募集した。募集は 1 口 3,000 円に設定し、全世帯と町外篤志家のご支援を得ることとし、町会役員のほか悠々サロンスタッフにも募金活動の協力を依頼した。
その結果、2,536,400 円（町内 214 件 1,848,400 円　町外 27 件 688,000 円）と見込みを大

幅に上回る支援・協力があった。
(4)行政の補助金
　建設資金は自己資金では大幅に不足するため、行政の補助金制度を適用した。
　そのためには、建設行程を補助金交付手続きフローに従って綿密な計画スケジュールを設定し、円滑な事務処理となるよう腐心した。
　申請時に予定した補助金は、金沢市 10,000,000 円、石川県 5,000,000 円の合計 15,000,000 円、それと同時に金沢市コミュニティ活動推進用具補助制度により掲示板設置費用の 100,000 円交付を申請した。
　平成 21 年 5 月、金沢市補助金 10,900,000 円、石川県補助金 5,400,000 円の交付内示があり、平成 22 年 1 月、掲示板設置費用 100,000 円交付決定通知があった。
　当初予定額 15,100,000 円が 16,500,000 円に増額交付があったことにより、調度用品・備品類整備が充実したものとすることが可能となった。

８．集会所底地の寄付要望
　行政の補助金交付申請にあたり、土地所有者の承諾書提出が義務づけされていたことから、所有者である石川県勤労者住宅生活協同組合に対して、承諾書の交付を受けると共に、万一に備え新館の永続性を担保する必要に鑑み、寄付要望書を提出した。同協同組合が必要条件とした町会の法人化（地縁団体）が行われていたので、要望に沿うよう努力すると回答があった。
　平成 21 年 1 月、石川県勤労者住宅生活協同組合から理事会の承認を経て寄付要望に応えると通知があり、直ちに所有権移転登記手続きと併せて、不動産取得税減免申請を行った。
　平成 21 年 11 月、新聞報道で石川県勤労者生活協同組合が 8 月に破産手続きを申請し業務を停止した旨の記事が掲載された。もし、土地の承諾書のみで建設工事に取りかかった場合、債権者から工事の中止又は買い上げの請求があることになり、危機一髪でその難を逃れることができた。

９．工事請負契約
　請負工事業者選定にあたり、金沢市内業者から建設工事請負実績と資力・信用に問題のない業者を４社（鈴木建設・兼六建設・豊蔵組・荒木木材工業）選定し、各社に同一の設計図書を提示し見積書を徴収した。その結果、最低価格 3,700 万円（税抜き）を見積もりした鈴木建設を選定し、平成 21 年 7 月工事請負契約を締結した。その結果、工事価格交渉（ネゴ）が不要となり、銀行融資も不要となったことから、18 年間に及ぶ積立金徴収を平成 21 年末を以て取りやめとした。
　また、鈴木建設と工事請負契約締結書を交換する際、工事協力業者（下請け）について、町会に貢献されている業者を加えるよう要請し、ふじ建築工房、美利善、宇野製作所、高田電気通信の各社を紹介した。

１０．仮集会所の選定
　旧集会所が取り壊され、新館完成までの 8 ヶ月間、仮集会所とする借家について物件の選定に腐心した。住民からの情報を元に空き家の家主、間取り等を調査した結果、9 班武林宅を最適と判断し賃貸借契約を締結した。賃借料交渉にあたり、5 万円／月を提示したところ、3 万円／月で十分との意思表示により賃借料が決定した。
　なお、会館竣工にあたり、家主からお祝い金 3 万円の寄贈があった。

１１．天の時、地の利、人の情け

(1)荒屋会館建設事業は、何よりも改築資金の積立があって、平成 19 年から改築実現に向かって大きく舵を切った。振り返れば、その時に舵を切ったことがあらゆる面に吉となり素晴らしい会館完成を迎えることができ、正に天の時であった。

(2)底地を寄付受けできたことにより、土地購入費用が不要となり資金計画にゆとりが生じ地の利を得た。

(3)顕彰版、月間予定表、館名名称標、掲示板等のサイン工事では、町内在住の美利善大島社長から、採算度外視の素晴らしい付帯工事を施工され、五井建築設計研究所西川社長からは、検討委員として計画に無償で対応していただき、設計業務から工事監理業務まで誠心誠意で対応され、かつ、掲示板設置費用の一部を個人的に負担する申し出をされた。

また、一水会展 3 年連続入選、現美展 2 年連続入選を果たされた木村純子さんから、絵画を寄贈したいと申し出があり、荒屋会館の 3 階ホールの壁面を飾るため、自ら筆を取られて見事な絵画を寄贈していただいた。

このほか、高林製作所高林副社長から祝賀会当日の駐車場提供の申し入れがあったり、悠々サロンスタッフの皆さんが早朝 6 時から赤飯づくりとパック詰め作業にあたっていただくことができた。

荒屋会館は人の情けの積み重なった結晶でもあります。

１２．竣工祝賀会のご祝儀等

（敬称略）

役職・お名前	お祝い金	清　酒（箱）	役職・お名前	お祝い金	清　酒（箱）
馳　　浩		1	百坂町　　高崎 和夫		1
中村　　勲	10,000		柳橋町会 簔輪 勇紀雄	10,000	1
谷内　律夫	10,000		荒屋町会	10,000	
金沢市議会議員 田中　展郎	10,000	1	福久町町会	10,000	1
千坂公民館 館長 小藤　典行	10,000		荒屋町　　川上　　清	20,000	1
千坂校下町会連合会 会長　西田　　稔	10,000	1	東京都　　武林 郁哉	30,000	
千坂地区社会福祉協議会 会長　高田　　博	10,000		金市町　　村井　　稔	10,000	
鈴木建設株式会社		1	高田電気通信		1
(株)五井建築設計研究所		1	兼岡ジムキ		1
(株)ダスラー代表取締役 桧原　永文		1	(有)伸栄館		1
金市団地町会		1	松喜寿し		1
福久南町会		1			
協和工業(株) 取締役社長　川北 英治	10,000		合　　計	160,000	16

以上のとおり、大勢の方からお祝いをいただきました。ありがとうございました。

『荒屋会館はみんなのもの』

荒屋会館は部外者に貸し付けて収益を目的とする施設として誕生したのではありません。

地域住民が何時でも自由に利用できる施設として計画されました。コミュニティ施設としては地域一番館となりました。従って、その有効的利用策の一環として各種同好会を立ち上げ既に一部活動が開始されています。先だって開催された同好会創設説明会では、代表者、開催日、運営方法が協議され、その大筋が決定いたしました。(別紙参照)

これから会員登録を希望される方は、別紙を参照のうえ、代表者に申込みをお願いします。

『鈴木建設株式会社からのメッセージ』

荒屋会館新築工事は、困難な施工条件のもと、無事故・無災害で工期内に見事に完成されました。町会は優秀な施工技術を展開された鈴木建設株式会社に巡り会う機会を得られたことは、誠に喜ばしいことでした。その鈴木建設株式会社代表取締役社長鈴木宗幸様から、別紙のとおり荒屋会館新築工事を終えてと題する礼状が届きましたのでご紹介します。

(以下、一般記事となります)

２．５月１６日（日）は一斉美化清掃デー・泥あげの日です（雨天決行）
皆さんの手で自分たちの住む町をきれいにしましょう

５月１６日（日）は千坂校下において一斉美化清掃デー・泥あげが実施予定されおり、年に１度の側溝泥あげと、美化清掃を同時に実施されます。

美化清掃に必要なごみ袋を配付しますので、**燃やすごみ、燃やさないごみに分別して８時00分までに南小公園に集積**するようお願いいたします。また、側溝泥あげについては次により行うようお願いします。

(1) 土のう袋は、下水道接続工事がほとんど終わっていることから、一戸あたり２枚としますが、足りない方は遠慮なく班長さんに申し出てください。(会館で予備袋保管中)
(2) 空き家および長期留守宅等の前は隣近所の方で、また、駐車場については使用者とその所有者が協力して行ってください。
(3) あげた泥は、配布された土のう袋に入れ、側溝沿いに置いてください。段ボール等に入れた泥は収集されません。
(4) 土のう袋には、側溝の泥以外のごみは絶対入れないでください。
(5) 余った土のう袋は、他に使用できないので班長さんにお返しください。

なお、清掃終了後の、蚊・ハエ駆除用の殺虫剤の散布は、下水道整備でその必要性が殆どなくなったため、**取りやめ**といたします。

３．平成２２年度の各委員等の決定について

町会連合会等諸団体において、防犯委員、公民館委員、並びに健康推進委員の推薦依頼に基づき、町会は次の皆さんにそれぞれの委員をお願いしました。今年度１年間よろしくお願いいたします。

【公民館委員】
能田 範彦（ 8班）※注１

【防犯委員】
中屋 保雄（13班）　上山 昌弘(１班)　田上 吉紀(５班)　野谷　清（12班）
紺谷 幸司（15班）　木村 玲子(４班)　能田 範彦(８班)　竹林 正人（ １班）

【健康推進委員】
　中屋 保雄（13 班）　　寺本美樹子(4 班）　皆戸 信子（17 班）
【校下婦人会連絡員】
　土居本美代子（ 9 班）　北永 久美子(15 班）

※注 1：公民館委員について、先に公募した結果、応募者がなかったため適任者と考えられる人 10 名ほど個別に折衝しましたが、承諾を得ることができず、昨年に続いて女性の 1 名が欠員のままとなり、町会の面目が立たなくなりました。
来年度は絶対このような結果を回避すべきであり、他町会の選出方法を調査して町会の面目を回復しなければなりません。
「大きな町会の推薦がないことに失望をしている」とコメントがあり、町会は苦境に立たされています。是非中途でも推薦をと強く求められました。
皆さんからの自薦、他薦をお待ちしています。（各ブロック長にご連絡下さい）

４．第 32 回町会対抗ソフトボール大会開催について

標記について、新年度の各種町会対抗競技大会のトップであるソフトボール大会が、下記のとおり開催されますので、多数の方のご参加をお願いいたします。
なお、参加を希望される方は下島青年部長（258-2723）にご連絡をお願いします。

記

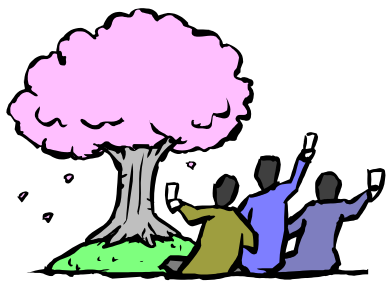
１．日　　時：平成 22 年 5 月 16 日（日）午前７時５０分集合～
２．会　　場：北部公園ソフトボール場（2 面）
３．参加規定：・チームに女性又は 45 歳以上の男性 3 名を入れること
　　・１町会２チーム以内
４．申込締切：4 月 30 日（金）
５．抽 選 会：5 月 10 日（月）午後 7 時 30 から（公民館和室）

５．転入・転出のお知らせ

13 班（ロ 14-5）へ村角忠介さんが転入されました。
よろしくお願いします。

おくやみ

２班の浦岡正一さん(86 才)が２月 28 日に死去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



荒屋会館新築工事を終えて

この度「荒屋会館新築工事」を施工させていただき、誠に有難うございました。これから皆様のコミュニティの拠点として、この会館が大いに活用されることと存じます。また、4 月 4 日の竣工式では心温まる感謝状を頂戴し、改めて心から御礼申し上げます。

この工事は、現場が住宅団地内の一画であり、しかも前面道路に面していたため、工事車両の駐停車や資材の搬入に大変苦労しましたが、皆様方の温かいご理解と全面的なご協力のお蔭で無事にお約束の日までに完成することができました。また、10 月 3 日には「感謝の一斉清掃」として、弊社社員と工事協力業者が約 20 名で、南小公園と児童公園で清掃活動をさせて頂いたことが、つい先日のことのように思い出されます。

弊社は昭和 23 年に創業し、今年で 62 年目を迎えます。金沢市清川町（犀川桜橋詰）に本社を置き、石川県内を中心に総合建設業としてビルやマンションなどの建築工事や、道路や下水道整備などの土木工事を行っています。そして平成 19 年にはオリジナル住宅「THE HOUSE 金澤」を立ち上げました。「THE HOUSE 金澤」のコンセプトは＜懐かしく、新しく、住まう＞　キーワードは＜融合＞です。和と洋の融合、先人の知恵と最新技術の融合、弊社の考えとお客様の想いの融合・・・いろんな要素を自由な設計の中で融け合わせ、世界に一つだけの「THE HOUSE 金澤」を、真心をこめてご提供させていただきます。

今後も「誠実と信頼でより豊かな明日を創る」の社訓を掲げ、地元の建設会社として、郷土の発展に寄与していく所存でございますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

平成 22 年 4 月
鈴木建設株式会社
代表取締役社長　鈴木宗幸

犀川の満開の桜と弊社社屋

THE HOUSE 金澤

THE HOUSE 金澤のロゴマーク

趣味の会（同好会）等の活動計画表

整理番号	趣味の会名称	会員数	代　表　者	電話番号	実施日	開催時間	摘　　要
01	囲碁・将棋	3	中屋 保雄	257-6691	毎週金	10～12	会員募集中
02	写真	3	竹林 正人	258-2928	1･3週土	17:30～	ﾈｯﾄｻｰｸﾙと同
03	カラオケ	8	中屋 保雄	257-6691	月・金	14～16	
04	クラフト	2	打林 悦子	258-1551	第2火	13～16	会員募集中
05	フリー	6	中屋 保雄	257-6691	フリー	フリー	〃
06	料理	12	赤田すみ子	258-4255	第3金	9～13	
07	茶道	5	黒田由紀子	257-3690	2･4金	13～16	会員募集中
08	生け花（草月流）	5	皆戸 信子	257-7547	1･3火	14～16	〃
09	演芸	5	中屋 保雄	257-6691	未定	未定	〃
10	子育て	2	土居本美代子	258-2965	〃	〃	〃
11	映画	5	土居本美代子	258-2965	月1回	随時	〃
12	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｺﾞﾙﾌ	11	小谷内久米松	258-4680	毎週火	8～	荒屋八幡公園
13	ネットサークル	39	中屋 保雄	257-6691	1･3土	19:30～	
14	悠々サロン	30～40	土居本美代子	258-2965	3週土	13:30～	
15	健康クラブ	11	打林 悦子	258-1551	毎週水	19:00～	
16	書道教室	(部外)	斉藤 紫苑		毎週土	10:00～	2階研修室